

作成番号:0242

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-242

内容:日本の小児・青年期の自殺リスク、「学校に行きたくない」ネットの検索量と関連

出典:Association Between School-Related Google Trends Search Volume and Suicides Among Children and Adolescents in Japan During 2016–2020: Retrospective Observational Study With a Time-Series Analysis.

Journal of medical Internet research. 2024 Oct 21;26:e51710. pii: e51710.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39432900/>

自殺は、日本における小児青年期の主な死因となっている。多摩大学の研究者らは、小児青年期の自殺リスクの検出目的に自殺者数と学校関連のインターネット検索量との関連を調査し、Journal of Medical Internet Research 誌 2024 年 10 月 21 日号に報告した。

2016～20 年の警視庁より提供された日本の小中高生における自殺企図の週次データと、Googleトレンドから収集した 20 の学校関連ワードのインターネット検索量の週次データを用いた。「学校に行きたくない」「勉強」の検索ワードは、自殺発生率との因果性が認められた。相互相関分析では、「学校に行きたくない」、「勉強」では有意な正の相関が認められ、自殺者数の増加に伴い検索量の増加が示唆された。COVID-19 パンデミック期間中(2020 年 1～12 月)では、「学校に行きたくない」の検索傾向は、「勉強」とは異なり、自殺頻度との高い関連性が認められた。

『学校に行きたくない』のインターネット検索量のモニタリングは、小児および青年期の自殺リスクの早期発見につながる可能性が示唆された。

Table 4. Temporal pre-post relationship by Granger causality (school calendar model in the search terms “I do not want to go to school” and “study”).

Null hypothesis	Optimal VAR ^a lag length	F statistics (df)	P value
“I do not want to go to school” does not Granger-cause the number of suicides	1	10.91 (1, 512)	.001
The number of suicides does not Granger-cause “I do not want to go to school”	1	2.74 (1, 512)	.10
“study” does not Granger-cause the number of suicides	2	4.01 (2, 506)	.02
the number of suicides does not Granger-cause “study”	2	1.43 (2, 506)	.24

^aVAR: vector autoregressive.